

WIN CONCORD
コンコード

NEWSLETTER

2003
vol. 13



原点に戻って

WIN コンコード 代表 小坂光生

もう一度原点に戻らなければならない時期が来ています。WIN の発足のバックページを飾った一文

The failure of hierarchies to solve society's problems forced people to talk to one another and that was the beginning of networks.

From "Megatrends" by John Naisbitt

「ピラミッド型の構造の欠点が随所に顕在化した60年代後半、人々は次に打つ手を考えあぐねていた。そしてピラミッド型の構造の一步外側へ出て情報を交換し始めた。これがネットワーク構造の誕生だった・・・」

この文章にひらめきを感じ、新しい時代に何か準備し、行動しようと1986年6月WINはスタートし

ました。事業だけではなく、一方でボランティアをしよう・・・ボランティアでは、私共がお役に立てる可能性が大きい国際化分野をやろう。

“Think globally, act locally” 地域で長く出来ることは何かと考え、「留学生の皆さんに生活のお世話をしよう」とスタートしたのがWIN コンコードです。1991年7月のことでした。以来12年大勢の方々のご支援、ご厚意に支えられ活動を続けてくることが出来ました。

「和歌山でして下さったように、自国に戻って、今度は他の人々にお返ししたい。WIN コンコードと同じような活動をしたい。」こんな言葉を卒業していく留学生にもらって、大きな感動をおぼえたことが何度かあります。ご協力を頂いた方々、又頂いている皆様に心より感謝を申し上げ、より多くの皆様のご理解・ご参加をお願いします。



ミャンマーのお正月と水の祭り

Myat Myat San (ミャンマー)

ミャンマーのお正月は4月の中旬にあります。三日間の水の祭りで新年を先導します。伝説によると、その3日間に天体の王様である Thagyamin は人々の住まいに遊びに来ます。ミャンマーのどこへ行っても Thagyamin の事が聞こえます。

古くからのしきたりによると、占星術師、Astrologer は水の祭り (Thingyan) がいつ始まるか、いろいろな星座の位置を調べます。すべてのミャンマー人はその時に Thagyamin が地球に降りると信じています。人々は Thagyamin は仏の弟子であると信じているので、たいへん尊敬しています。水祭りの前日に、焼き物の壺に7つの花を入れ家の前に置いて、Thagyamin が家に来るのを迎えます。7つの花の意味は、1週間の曜日を表します。また、Thagyamin は地球に来るとき、2枚の羊皮紙を持って来ます。1枚は金色で、立派な行為をする人の名前を書きます。もう1枚は、犬かヤギの皮で作ったもので、悪い人の名前を書くためと信じられています。ここまでは、水祭りの前の準備です。

祭りの間は何処へ行っても、ホースかバケツか何かで、互いに水をかけたり金切声を上げて楽しく騒ぎます。皆は水でずぶぬれになるけれど、心配することは全然ありません。水をかける意味は去年の悪いことを水で洗って、きれいにして新年を迎えるということです。Thingyan は新年へ行くこうという意味です。水の祭りは、4月の一番暑い時期にあります。若い人、若くない人、敬虔な人、そうではない人、国の人、外国人、すべての人々は楽しく熱中して祭りに参加します。

どこへ行っても、伝統的な太鼓、シンバル、笛の音が聞こえます。互いにかかったりジョークを言い合ったりして時間をすごします。これは楽しいだけではなくて、神聖な仏教の務めを行うためでもあります。

昔の風習では、銀の碗に香水を入れて、小さい木の枝を使って互いにやさしくふりかけました。今はその銀の碗の代わりに、バケツとホースが取って代わっています。でも水祭りの精神は、今も昔も変わりはありません。祭りでは、ミャンマーの大きな町の主な道に大勢の人が出て来ます。道には、きれいに飾りつけたパビリオンやスタンドをあちこち建てています。

最近、外国人、たとえば観光客、実業家、外国



航路の船員も熱中して参加しています。祭りの間は、国民祝祭日になっていますが、お祭り見物の人達のためにホテル、レストラン、お店のほとんどが開いています。別に大型のテントを建てて、食べ物をお供えしています。伝統的なご馳走は「モンロエボー」です。これは浮かんでいる練粉団子 (floating dough ball) で、粘着性の米と黒砂糖で作った茹で団子です。ココナツをすり下ろして食べます。他にもいろいろな食べ物があります。

この3日間は、若い人は遊ぶ人もいますが、お年寄りや若い人たちでも修道院 (パゴダ) へ行く人がいます。静かに3日間を過ごしたい人達がいっぱいいるからです。パゴダの中では、ほとんどの人がまじめに立派な行いをします。若い人達は地面を掃いたり建物を洗ったりします。また、お坊さんがお祈りをするために、色々な施しや食べ物を作っている人達を手伝います。

3日間のお祭りが終わったら、次の日は新年になります。お正月は修道院へ行って、お坊さんと尼さんに施しをして、献金をします。他には同じ仕事の人かグループで集まって、仏像を洗ったりパゴダのキャンパスをきれいにします。それに市場へ行く運命から魚を守ることもあるし、牛を殺す人から牛を守ることもあります。

若い人達はおじいさん、おばあさんの所へ行って尊敬の気持ちを表すため、マニキュアや、シャワーをしてあげたり、髪を洗ってあげることもあります。その時使うシャンプーはミャンマーの伝統的なシャンプーです。アカシアの木の果物と もう一つの木の皮を茹でて作ります。自分の家で作ったシャンプーは近所にも配ります。自分の家もそのシャンプーで洗ってきれいにします。これは新年になるとめでたい事があるからです。その日に Thagyamin も天体に帰ります。お坊さんと尼さんになる人もいます。夜になったらお坊さんを家に招いて、今年1年いいことがあるようにお祈りをしてもらいます。

シベリア物語：クラスノヤルスク市

Odegov Egor (ロシア)

こんにちは皆さん、僕はロシアのシベリアという雪に覆われた地域から来たイエゴールです。

日本の隣国ロシアは不思議な国で、ある人にとっては神秘的な魅力に満ち溢れた国であるのに、別の人にとっては得体の知れぬ近寄り難い国のようです。今回はロシアを紹介するというすばらしいチャンスに恵まれ、これをきっかけに、皆さんのロシアとの精神的距離を縮めることができればいいなと思っています。

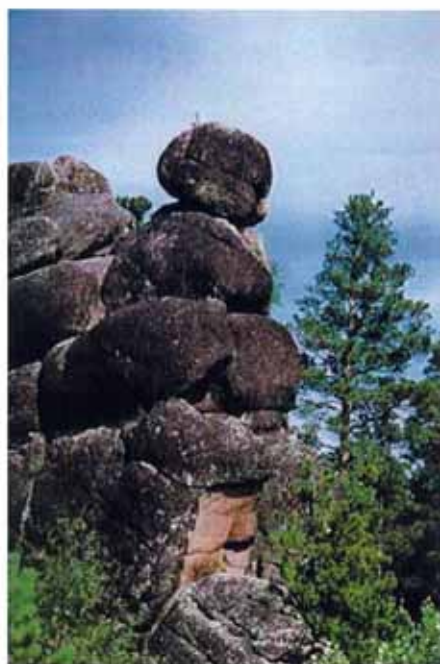
しかし世界一国土が広いロシアは大きすぎて、話に行き詰まってしまいそうな気がしました。そこで、今回はロシア全体ではなく、僕の故郷について少し話をさせていただきたいと思います。

ロシアのほぼ中央となるクラスノヤルスク市は、地理的にモスクワの東 4,000km に位置し、日本からは、飛行機で 5-6 時間かかります。クラスノヤルスクはシベリア鉄道とエニセイ川が交差するシベリアの交通の要衝です。ロシアの最初の探検家たちによって 330 年前に造られた、エニセイ河岸最大の港町です。1628 年、カチャ川がエニセイ川に注ぐ地点に、コサックのアンドレイ・ドゥベンスキーの命によって要塞が建設されました。クラスノヤルスクは長い間辺境要塞でしたが、後に流刑の地となりました。デカブリストの乱によって、多くの人々が流刑者としてここへ連れてこられました。けれども、1917 年の社会主義革命によってロシアは極端に変わり、クラスノヤルスク市もその例外ではありませんでした。ソ連時代はロシア有数の工業都市となり、市内、およびその周辺では高度の軍事・宇宙技術産業が置かれていたため、外国人に対しては閉鎖されていました。ペレストロイカになってから公開され、外国からの



観光客やビジネスマンなどが数多くクラスノヤルスクを訪れるようになりました。

現在、この地域では、ノリリスク・ニッケル社に代表される金属産業が代表的産業です。石炭、ガス、石油も大量に埋蔵され、石油の埋蔵量はチ



ュメニに次いでロシア第 2 位です。その他、化学、電力、食品加工、農業、木材産業等も盛んです。以上のようにクラスノヤルスクは、立派な州都となっており、産業・文化・学問・交通の中心です。

ところで、この地方で最も素晴らしいのは自然です。近寄りがたい岩や深い峡谷、果てしない平原、そして北極狐、鹿、熊の棲むうっそうとしたタイガの森。エニセイ川の岸近く、クラスノヤルスクからそれほど遠くないところに有名な自然公園—スタルプイもあります。そのスタルプイ国立公園の特徴は、遠くまで続くタイガの中に様々な形をした奇岩が顔を出していることです。その中には、高さ 100 メートルを超えるものもあるという御影石の自然記念碑が建っています。また、この地方は、1908 年のいわゆるツングースキー隕石が落ちたことでも知られています。

そんな素晴らしい自然に囲まれて育ってきたシベリア人は、外面が強く心の中では非常に優しい人たちです。約 50 の小民族から成っているクラスノヤルスクの住民は、それぞれ異なる文化を保ちながら今日まで争いをほとんど知らずに、仲良く暮らしています。ひとつ例をあげると、クラスノヤルスクの北極の近くに住んでいたチュクチャ人と 400 年ぐらい前にシベリアに移されたロシア人は、長い間助け合って生きてきました。勿論、生活において、お互いの文化や価値観の違いでぶつかる事が出てきたことがあります。しかし紛争を起こすことより、互いについて笑い話を作ったりユーモアで相手のライフスタイルや習慣を表現したり、するほうが有利だと考えています。

例えば、チュクチャ人は一番大きい電器屋さんに行って冷蔵庫を買おうとしていました。ロシア



ベトナムって、どんな国なの？

タイ チー ミン (ベトナム)

僕は日本に来て「どこの国からですか」と聞かれて「ベトナムからです」と答えると、「そうですか。戦争が大変でしたね。」などの思いやりの言葉をくれる中高年の人が少なくありません。多くの人にとって、ベトナムのイメージは、アメリカとの戦争であるようです。ベトナム戦争で世界に知られたベトナムはどんな国で、現在どうなっているのかという疑問をもつ人が少なくありません。

世界地図を見れば、東南アジアにインドシナ半島東に位置する細長いS字型のベトナムをすぐ見つけることができます。正式国名は“ベトナム社会主義共和国”です。日本から飛行機で約6時間かかります。ベトナムの面積は33万平方kmで、九州を除いた日本の面積に等しいです。ベトナムの人口は約8千万人(2002年)です。人口の約9割を占めるのがベトナム人(キン族)であり、その他にタイ族、ムオン族、クメール族、華族など50以上の少数民族が存在しています。キン族は平野部に、少数民族の多くは国土の4分の3を占める山地に住んでいます。65歳以上の人口の割合は、わずか5.5%で、若い国だと言われています。言語はベトナム語が公用語で、外国語としては英語・中国語・フランス語・ロシア語が多少通じます。

気候は、北部はアジア気候で微妙な四季の変化があります。南部は熱帯気候で、雨季と乾季の区別しかなく、年平均気温25℃です。日本の雨と違って、雨が急に大量に降ったり、止んだりするので、レインコートでないと傘ではずぶ濡れになってしまいます。

ベトナム料理については、外のアジア諸国と同じく辛いと思われるようですが、そうではありません。



和歌祭に参加して

人の店員さんは「チュクチャ、あなたのところでなぜ冷蔵庫が要るのですか。だって北の国はすごく寒いだろう?」とチュクチャ人に聞きました。その失礼な質問に対してチュクチャ人はこう答えました。「チュクチャをバカにするな! 冷蔵庫の中はマイナス5度だろう。でも外はマイナス40度だ! 僕は冷蔵庫の中で体を暖めるのだよ!」

確かにシベリアの冬の寒さに耐えるのは、大変なことです。それでは、ここで昔のロシア人が発明したパーニャというロシア風の蒸し風呂を紹介しましょう。マイナス20-40度の寒さの対策としてぴったりです。パーニャが世界を感激させたのはまだ10世紀の初めのことでした。その頃、思い切って古代ロシアを訪問した外国人は蒸し風呂に大変驚きました。その人たちは皆、北部にある不思議な国ロシアではロシア人が他のロシア人を燻製にしたり、木の枝で互いを鞭打ちの刑にしたり、裸の人が雪の野原へ飛び込んで、凍った川にくり抜かれた穴で泳いで楽しんでいることにビックリしたでしょう。実は、ロシアの蒸し風呂は今書いているほどこわくありません。ロシア風蒸し風呂パーニャは温度も湿度も非常に高いサウナほど気持ちがいいと言われています。蒸し風呂に入ってから、葉草の束で体をたたくマッサージが始まり、自分の体をごしごし洗って、氷のような水をかけると、頭のとっぺんから足の指先まで最高の感じがします。それで自分の体を暖めるだけではなく、活力が湧いてくるのを感じたり、貯まったストレスをとったり、神経の緊張を解いたりできます。皆さんもロシアに行った時は、ぜひパーニャにチャレンジして下さい。

以上のように、不思議な雪の天国シベリアが、僕の話を読んで、皆さんにより身近な国になって、少しでも精神的に近くなったら、それは言葉にできないぐらいうれしいことです。

スパシーバ!



せん。米が主食で、お箸が使われています。

ベトナム北部の料理は塩味が強く、中部の料理は辛く、南部の料理が甘いという特徴があります。ほとんどの料理にヌクナム（魚醤）が使われています。外国人にヌクナムの匂いは強いとよく言われますが、ヌクナムをたくさん食べれば、大好きになるかもしれません。生春巻き、フォーなども人気があります。

1976年の南北統一後、市場経済を否定する社会主義政策が南部にも適用されて大きな失敗を被ったのち、1986年の共産大会でドイモイ（刷新）政策が打ち出され、ベトナムは閉ざされた共産国から、東南アジアの新興工業国への脱皮を図ろうとしています。ベトナムの主な輸出品は米（世界で二位）、一般的な農海産物、原油などあります。現在ベトナム人の平均月収は約50万ドン（4千円程度）で、物価が安いのです。例えば、80円あれば昼ごはん定食を食べることができます。ベトナムの野菜の値段は日本の野菜の値段の1/20、1/30程度です。ベトナム国民は安定した経済成長で、平和な日々を送っています。

ベトナムの観光地のほとんどは遺跡や海・川の風景です。四ヶ所が世界遺産に登録されています。それらは、阮王朝の政治、文化、宗教の中心だったフエの建造物群、15世紀から19世紀に栄えた東南アジア貿易港の町だった古都ホイアン、様々の形をもつ沢山の島が点在し、まるで海に突き出した石灰岩の柱のような景観のハロン湾、長い間チャンパ帝国の政治的・宗教的中心だったミーソン聖域です。

最後に、ちょっとベトナムの発音を練習してみましょう。

Xin chao シンチャオ（こんにちは）
Cam on カム オン（ありがとう）
Xin loi シンローイ（ごめんなさい）
Tam biet タム ビエット（さよなら）

スキー旅行

教育学部交換留学生 朱 嬋娟（中国）

長い間楽しみにしていたスキー旅行の日がやっと来ました。2月23日、朝6時30分、バスに乗って、わくわくしている私達は福井県に向かって出発しました。知らず知らずにスキー場に着きました。

私達は着替えた後、興奮しながら、先生が教えるとおりに練習を始めました。スキーを体験したことがないので転んだり、倒れたり、どうしてもうまく進めなかったです。でも、どんなに難しくても、どんなに苦労しても、みんなは気落ちしないで、元気で続けて練習しました。

24日、日の出と共に元気いっぱいの私達はもう一度スキー場に向かって出発しました。スキーの基本知識やまわり方を習ってから、みんなは頂上からの滑りを目指して、一生懸命頑張って練習しました。せっかく来たので、頂上からの滑りを体験しないと、残念だなと思いながら、私もやっと頂上からの滑りに挑戦する決意をしました。「元気を出して、先生に教えられたように滑れば、きっと成功よ」、WIN コンコードのお父さんの話は私を励ましました。私もだんだんできるようになりました。

今度のスキー旅行は面白くて楽しかっただけではなくて、私達に色々なことを教えました。困難の前でがっかりしないで、元気を出して頑張れば、私達はきっと勝ちます。スキー旅行を通して分かったことは、私達の今後の人生にもきっと役に立ちます。

WIN コンコードの方々、今度のスキー旅行に参加させていただいて、まことにありがとうございました。



お金で買えない人の心

パワントリー スリヴィライ (タイ)

“お金は何でも買えますが、人の心は買えない”というタイの諺を聞いたことがありますか。

3年ほど前、日本の文化とタイの文化を交換するための学生として日本に来ました。その時は京都のホストファミリーの家に泊めてもらいました。2週間位だけでしたが、毎日タイダンスを紹介しに行ったり、京都の有名なお寺に行ったりしていました。

それから、タイへ帰って、日本に行ったきっかけで、日本、日本人、日本の文化に興味を持つようになりました。そして、また日本に戻りたいという気持ちで日本語を一生懸命勉強して、留学試験を受けることにしました。その結果、その試験に合格できて、言葉で説明できないぐらいうれしかったです。

やっと2002年の10月7日に関西空港に着いたのに、何となく寂しくなっていました。それは1年間のタイの留学生として日本に来たからでしょう。一人で暮らしたことがないし、日本語もあまり上手ではないし、困るかなと思いました。それに、友達ができるかちょっと心配しました。和歌山大学国際交流会館に1週間泊まっても、隣の部屋にいる人が誰かどんな人かわかりませんでした。友達になってもらいたかったのに、隣の部屋に行って“ピンポン”とベルを押して、「こんにちは」という挨拶をするのが、その人に迷惑になってあまりよくないことではと考えていたので、そんなことをしなかったのです。

しかし、WIN コンコードのパーティーや旅行やいろいろな活動のお陰で全然話していなかった隣の人と知り合って、たくさん新しい友達ができ、本当にありがとうございます。

ところで、和歌山大学での勉強のことですが、私は日本語についての授業を受けて、合気道や柔道などの活動に参加しました。それで、前より体がもっと丈夫になりました。そして着物について興味を持つようになりました。

着物と言えば、やはり日本の国でしょう。着物は一つの大切な日本文化だと言えます。私はタイダンスを着る時、いつもうれしくて、自分の国を誇りとする気持ちになっています。日本人が着物を着る時も私の気持ちと同じではないでしょうか。衣服は体に一番近くて、体を守るもので、微妙なものだから、どの国の伝統的な服を着ても、

その国の人になって、その国の本質に触れることができると思っています。だから、私は一回でもいいので、着物を着たいなあと思っていました。

幸いに、今年のお正月に WIN コンコードの方のお宅で着物を着させて頂いて、大変うれしかったです。そして、WIN コンコードの方は、私が着物に興味を持

っていると分かったので、着物を貸してくれました。心を込めて下さっているのです。それから奈良のホテルでの着物パーティーに着物のモデルとして参加できたのは、美しい思い出です。私にとって着物は本当に素晴らしいものです。着物のことはたくさんあるので、これからも勉強し続けていきたいと思っています。

日本での生活は WIN コンコードの方々が助けてくれないと、問題があった時などもっと困るでしょう。それに、楽しい時もないでしょう。それは日本のいい思い出です。そのお陰で帰国しても、日本のことを忘れられないでしょう。皆様のお世話になり、心から感謝しております。これからもよろしくお願い申し上げます。

始めに述べたように“お金は何でも買えますが、人の心は買えない”それは本当だと思いますか。



タイの踊り

新留学生紹介

丁 敏 (中国)

私を知っている人なら誰でも私は魚が好きだということが分かる。食堂でご飯を食べる時、必ず魚を注文する。魚さえあれば、おかずなんて何もいらないうです。また、星座も魚座ですよ。お母さんの中にいる時魚が好きだったから魚座の月に生まれたのか、魚座の月に生まれたから魚が好きになったか今もはっきり分かっていない。ついでに、魚を育てる海も好きになった。だが、海を見る機会がなかなかなかったんです。それは日本を留学先として選んだ理由の一つになった。

1年間大阪にいて毎日地下に生活してきたような気がします。ある日トンネルを通過したのに、気がつかなかったのです。その時、私は海の見える大学に行きたいと思いました。

大学を決める時先生に依頼して、自分の条件は、できれば海に近い所を選びたい。初めてシステム工学棟の上から下を見たとき、山があって、海があって、最高だと思って長い時間ずっと興奮した状態で、面接官に「特技はなんですか」と聞かれた時、つい「海に向かって歌うこと」と答えちゃった。和歌山にいますので、本当に海を見る機会が多くて、おいしい魚も食べれるし満足していますよ。

Naw Ruth (ミャンマー)

私はノルッです。去年の10月にミャンマーから来ました。1年間化学教育について研究しに来ました。和歌山に来てバスの時間もバス停も分かりませんでした。その時日本人の男の人が親切に私に教えてくれました。大変助かりました。日本に来て以来日本人は私にとってもやさしくしてくれます。日本人はとても親切と私は思っています。日本での生活は私にいい経験になっています。私は日本人の親切さに大変感謝しています。

徐 勤星 (中国)

私は中国からの徐勤星(ジョウキンセイ)です。今年22歳の男です。2年半も日本語を勉強したのに、やはりまあまあですから、日本に来て、猛勉強しなければなりません。

読書が好きです。文学作品というと、小説より随筆と散文が大好きです。県立図書館に恵まれて、豊かな読書生活になると思います。それに、テレビも好きです。テレビファンとして、1日に何時間もテレビの前にくぎづけされて、目が悪くなる

一方です。今は見たいと思うのに、目のために、あまり見ない方がよいと思って、我慢しています。その他、スポーツが好きですが、あまり上手ではありません。

日本の生活を体験したい、日本語らしい日本語を勉強したい。日本人の友達を作りたいと思って日本に来ました。日本での1年間の留学生活は私の生命の大切な一環になるように頑張っています。

Azavitra Binti Zainal (マレーシア)

私はアザです。日本へ来る前に、日本についていろいろ聞いた。少しずつ日本のことが好きになった。だから一生懸命に勉強して日本に留学することを実現するつもりだった。

今は日本に留学できてとてもうれしい。将来はエンジニアになるだけでなく、ロボットを作りたい。マレーシアでは、ロボットの技術は少しずつ進歩している。マレーシアへ帰って、技術の伝達をしたい。なぜかという、マレーシアの政府のおかげで日本に留学することができたからだ。

私にとっては、現在はロボットが必要だ。人は今日とても忙しくて、時間があまりない。だからロボットがあれば人の暮らしが楽になるかもしれない。重いものが運べて仕事ももっと整理できると思う。私はそのことは夢ではなく、実現したい。これから一生懸命に頑張って大学生活に慣れたい。

Azniyati Abd Wahab (マレーシア)

私はヤティと申します。デザイン情報学科で勉強しています。今から自分の将来のためにちゃんと勉強します。日本で勉強することは、とても貴重な経験になるかもしれません。楽しいこともあると思うけど、私は留学生だからしんどいことがたくさんあると思います。日本語がまだ下手なので話すこともあまり上手くありません。

しかし、今から私は自信を持って、一生懸命に勉強したいです。実は私、デザイナーになりたいのです。なぜなら私はデザイン情報学科で勉強しています。社会のためにいろいろな便利なものを作ってあげることができる。大学での生活は大変だと思います。自分で情報を探さなくてはならなくて、自分の力で課題をするからです。しかし、もしたくさんの友達がいて、まじめな学生になれば、大変ではないと考えています。更に、いつも先生と相談をしたら、生活も大丈夫になると思います。だから私は今から絶対一生懸命に勉強しなければなりません。絶対に卒業することができるはずです。卒業後はいい会社で働きたいです。

郭 宏邈 (中国)

私は郭宏邈 (カコウ・ヨウ) と申します。中国の北京から来ました。24 才です。去年の 10 月日本に来ました。日本語があまり上手ではありません。どうぞよろしく。私はピンポンをやるのが好きです。今まで会館の 1 階の男の学生で私に勝つ人は一人もいません。もし誰かが私に勝ったら私は北京料理を作ってあげますよ！片男波公園は会館にあまり遠くないから 7 月頃みんな一緒に泳ぎに行きましょう。

和歌山に来たばかりの私は和歌山に対してあまり詳しく知りません。面白い所とか、美しい景色の所とか、物価が安いスーパーとか、知っている人は教えていただけませんか。じゃ、時間があれば遊びに来てください。

Ruzana Binti Saat (マレーシア)

初めまして！私はマレーシアのザナです。

I am interested in learning Nihongo but the time allocated for me to learn the language is quite short. I should admit that I'm still not good in Nihongo...especially in my oral communication. And the kanji...I cannot expect much to excel in understanding the kanji since I only learned 240 kanji during the Nihongo

class...the ones that the elementary school students learn. I remembered when my classmates and I visited an elementary school in Mie Ken...we were invited to learn kanji with the 7 year old students...and all of us learned the very same kanji that we learned the week before. We laughed and tried to imitate their actions while answering their sensei's questions and writing the kanji. Kanakochan (my 7 year old cute little partner) even corrected my handwriting. Well...she was one of my teachers on that day...and of course the youngest kanji sensei that I ever had!

On April 11, 2003 I attended my very first class. My Professor had asked me to join some of the Masters classes as well as the undergraduate class, I have to learn English in Nihongo. The discussion started and we had to write something on a piece of paper. But then I realized...I had forgotten a lot of hiragana and katakana letters. Only 1 month of holiday and so much has flown away like the sakura petals being blown away by the winds. My eagerness suddenly ceased out. This means extra work for me...open my Nihongo books again and... もういちど、べんきょうしましょう・・・



はじめまして。私は姜春分 (カンチュン) と申します。韓国の慶北大学校で日本語を専攻しています。交換留学生として今年一年間は、和歌山大学で勉強するようになりました。大学院を卒業すると、中・高校で日本語を教える先生になります。もちろん、試験に合格しなきゃ、できないんですけど・・・

日本へ来て一番困ったのは自転車に乗ることでした。今は、乗れるようになって、県庁までは行けます。まだ、学校までは無理だと思いますが、今の状態でうれしいです。実は、私の一つの夢は、サイクリング旅行です。叶えるとは思わず、ただ冗談のように言いました。子供のときから、関節炎だったので、転んだりして何かを学ぶことが怖かったんです。だから、練習したことは1～2回ありましたが、女性にはよくないという話もあってあきらめました。

でも、ここでは、違いました。自転車に乗れないと、学校も買い物も大変そうです。練習一日目はおしりと足が痛くてあきらめようかとも考えたんですが、やはりお金がかかる問題だから、なかなかできなかったんです。帽子をかぶって買い物をするとき、おばさんになった気分になりますが、少しでもこの生活になれるような気がしてうれしいです。次の目標っていうか、たぶん無理だと思いますが、傘をさして乗ることとか、乗って携帯のメールを送ることもできるように頑張ります。一年間よろしくお願いします。^^

みなさんは日本へ来て何が一番困ったんですか。

Dileepa Samudrage (スリランカ)

はじめまして・・・！私は、ディリーパです。スリランカから来ました。三重大で4ヶ月間日本語を勉強しました。けれども、私は日本語を話すことができません。私の修士課程は4月8日に始まりました。授業は全部日本語で行ないます。私の先生はとても親切な人です。彼は私を他の学生たちに紹介しました。私は4ヶ月間日本語を勉強したと言いました。学生たちはびっくりしました。学生たちは私に修士課程で勉強を日本語でしますかと聞きました。だから毎日私は、日本語の重要さを感じています。時々私は何もわからなくても、はい！はい！と答えます。日本語がわからないので英語で話します。お互いに言葉がわからないので、大切な話はできなくて簡単なことだけ話します。そして、私の日本語勉強のために日本語の本を読むことも大事です。

私は段寧 (ダンネイ) と申します。中国の瀋陽からの留学生です。陽気で明るい性格だと思います。私は各国の人と友達になりたいです。信頼できて、何でも話せる友人と見てくれているようです。日本語を中国で3年間、日本に来て半年勉強しました。日本は交通が発達し、街がとても清潔だし、暮らしやすいと思います。引越したとき、大家さんや隣人たちがいろいろ教えてくれました。今年4月1日京都の友達と別れ、和歌山に引越しました。その時、生活用品もないし、友達もいなかったから、とても困りました。WIN コンコードから炊飯器を貸してもらいました。私が早く日本を理解するために、日本舞踊の会や琴と尺八のコンサートやマリナシーティのチケットをくれました。私はとても感動しました。歌舞伎、尺八などが好きです。めったに経験できない機会だと思います。今、私は和歌山大学の国際交流会館に住んでいます。世界各国の友達ができました。先輩にも会いました。時々、会館でパーティーがあります。みんな一緒に食事したり、相談したり、遊びます。毎日楽しく過ごしています。

Moe Moe Aye (ミャンマー)

私はモーです。ミャンマー人です。ミャンマーでは私の仕事は小学校の校長です。私は結婚しています。私の娘は4才です。

和歌山大学で1年間勉強する予定です。私の専門は地理教育です。専門の勉強が終わったら、来年3月に国へ帰ります。4月1日に和歌山に着きました。和歌山大学の国際交流会館に住んでいます。どうぞよろしくお願いします。

Sebastien Piquet (フランス)

Konnichiwa! My name is Sebastien, but you can call me Seb. This is easier to pronounce for you, right? Well, I am a 21 year old French guy. I studied for a while in Australia, where I made many Japanese friends. They talked to me about their country, so I decided to check it out by myself. And here I am!

My hobby? I try to play the guitar, I try to speak Japanese, I try to try many kinds of food and kinds of music...

For more details, come and see me and... let's try together!

やる気と自信

システム工学部 4 期 薛 勇煥 (中国)

大学 4 年間の勉強生活の中、心得たことは“やる気”この言葉です。これがまた自信に繋がることを改めて感じました。

大学 3 年後期に入ってゼミ配属がありました。配属が決まって卒論研究課題に関して指導教官と話したところ、Java 言語を使って国土数値情報メッシュを表示するプログラムを設計する課題にしました。それは今までやってきたこととほとんど係わりのない内容でした。正直に言いまして、これまでグラフィックスに興味があったものの、それに関する知識はほとんどありませんでした。その不安を察したように、先生はやればできると励ましてくれました。そしていろんなアドバイスをくれました。それで不安はありましたが、自分に対する新しいチャレンジと思って積極的に取り組みました。

初めは不安や焦りが見えましたが、せっかくやるなら興味を持って全力で取り組まなきゃと自分を説得しながらやっているうちに、だんだん先が見えて軌道に乗るようになりました。そしてそのやり方が結果に結びつきました。

今考えると本当にやってよかったと思います。その卒論研究を通して今後どんなことがあってもやる気を持って一生懸命取り組んでやれば必ず結果を出せるという自信ができました。

一期一会

経済学研究科 36 期 Law Wan Yoke (マレーシア)

日本に来ている間、一番良かったことは、仲の良い友達ができただけです。私は小さい頃、憧れていた歌手がこう言った、「私にとって、友情は財産です」その話がずっと頭の中に残っている。和歌山に、Jenny、Egor、Chui Ling、金在哲、Oyundari、李在桓など、私がうれしい時、つらい時いつもそばにいてくれて、あなた達の友情、愛とサポートに恵まれて、私もだんだん成長して、楽しく有意義な日々を送れるようになった。もしあなた達がいなかったら、なんと寂しい留学生活だったでしょう。

日本に居るのはあと僅かの日々です。うれしい

ような悲しいような複雑な気持ちです。うれしいのはもちろん家族の傍にいられることです。悲しいのは仲の良い友達と別れなければならないことです。しかし、あなた達がいたからこそ、私の生活が豊かになった。あなた達がいるからこそ、私の人生により一層新たな側面が開かれた。

感謝

経済学研究科 36 期 呂 林虎 (中国)

和歌山での 2 年間の留学生活はあっという間に過ぎていきました。短い間でしたが、WIN コンコードの皆さんのおかげでとても楽しく充実した日々を送らせて頂きました。これまでの私の人生で一番幸せな一時でした。一人で寂しがらないように、困らないように、WIN コンコードの皆さんは、いつも親身になって丁寧に、暖かく、世話をしてくださいました。その深い愛心に包まれて私は大きく成長したような気がします。

この 2 年間、パーティや活動を通じて、私は日本の文化を理解し、日本人の方々や様々な国の留学生との交流を深めることができました。また、念願だった英会話のレッスンにも参加させていただきました。初めは、本当に聞き取ることができなかったのですが、回を重ねることに、聞く方も話すほうも少しずつ進歩したように感じます。この機会を借りて、いつも私を応援し、支えてくださった WIN コンコードの皆さんに心より感謝を申し上げます。

就職後は、ご厚情、ご期待にこたえるべく、精一杯努力していく所存でございます。これからも、どうぞ暖かく見守ってください。



ご卒業おめでとう！

ケーキを切る卒業生

(左から、オルンゴワさん、薛さん、呂さん)

王慧華さん in 台湾

一卒業生を訪ねて

松下 勤 (日本)

1月にWINメンバーの大橋君夫妻と一緒に台湾旅行を楽しみました。台北では何年か前に和歌山大学に留学していた王慧華さんに案内してもらうことができたので、短い日程のなか、効率よく有名なところを見物することができたと彼女に感謝しています。

王慧華さんは、和歌山から帰国して日系企業に勤めた後、カナダに留学して英語をマスターし、現在、三井物産のスタッフとして元気に活躍しています。彼女の案内で行った鼎泰豊（ティンタイフォン）という点心（シュウマイなどの軽食）の店は、名物の小籠包（ショウロンパオ）を食べに来る人達が、いつも店の前に何十人も待っているくらい人気があり、その味はまた食べに行きたいと思うほどでした。蒋介石總統を記念する中正記念堂では人形のように微動もしないで立つ衛兵と交代の儀式を見、龍山寺では台北の人々の信仰の姿を目の当りにして、台湾の人達の生活を実感することができました。

圧巻はやはり故宮博物館の至宝のすばらしさで、中国4000年の歴史を伝える秘宝や美術品は一日中見ていても見尽くせないくらいであり、又、3-6ヶ月ごとに展示品を入れ替えているが、全部



見るのに10年以上かかるというほどの数とのこと。感嘆の声をあげながら足早の見物でした。翡翠で作った「翡翠白菜」が印象的でした。

王慧華さんのてきぱきとした案内のおかげで、短いながらも充実した台湾旅行を経験し、旅行はやっぱり現地の人に案内してもらうのが一番と勝手に思っているところです。王慧華さんとの楽しい再会の旅でした。将来はまたどこかの国へ帰国した留学生を訪ねて旅行できればと思っています。

2002年度 活動経過

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 4月7日 | 新入生歓迎花見（和歌山城） |
| 4月28日 | 和歌祭り |
| 5月18日 | WINコンコード総会・交流会 |
| 7月18日 | 企業見学（堺島精機製作所） |
| 8月3日 | 紀州ぶんだら踊り |
| 8/31～9/1 | サマーキャンプ 清水町（海瀬様宅） |
| 9月8日 | 第5回留学生の故郷を語る集い
（アメリカ、ハンガリー） |
| 11月10日 | 大学祭 模擬店協力 |
| 11月17日 | 新入生歓迎会（橋本病院ゲストルーム） |
| 12月23日 | 忘年会（自然塾 大阪府泉南市） |
| 1/1～3 | お正月
ホストファミリーのホームパーティー |
| 2/23～24 | 芦原温泉とスキー旅行
（スキージャンプ勝山） |
| 3月2日 | 第6回留学生の故郷を語る集い
（ミャンマー、韓国） |
| 3月24日 | 卒業生を送る会 |

年間 住宅紹介・入居・転居の支援
生活用品の貸与
ホストファミリープログラム
生活情報提供、相談

お願い

WINコンコードでは、留学生に生活用品を貸与するため、皆様からご寄付を募っています。留学生の増加に伴い、不足する物が出てきました。特に、自転車・机・椅子などが必要です。ご寄付していただいた物品は、一ヶ所に集めて、留学生が必要な時、いつでも貸与できる体制ができています。

一層のご協力をお願い致します。



和歌山城でのお花見



.....交流会.....
各国の民族衣装を着て
自国の紹介をする留学生たち





紀州ぶんだら踊り



港祭りの花火大会



清水町でのキャンプ



熊野詣の衣装を着る留学生たち



スキージャンプ勝山



大学祭



故郷を語る会



自然塾にて



卒業生を送る会

WINコンコード設立趣意書

現在社会は、政治・経済・文化のすべて分野で地球を一つの単位として捉え、はじめて、その機能を十分に発揮しうる状況に至っていると思われます。そして、このかけがえのない地球の責任を担っているのは、たった一つの「種」に留まる「ヒト」即ち人間であり、その一人一人の人間が確立された個として、地球の貴重な構成要素としての役割を果たすことが求められています。民族の違いは、多様な文化の豊かさを示すにすぎず、国境は行政を効率的に行うための境界にしかすぎないのです。

WINは、人間の知恵を結集し、愛すべき郷土和歌山が、人間味溢れるネットワーク（HAN Human Active Network）で結ばれた、活性化された地域となるために活動するものです。そして世界各国から勉学の間を求めて留学して来る人々に、より良い環境を整えることは、ひとつの単位となった地球上に「HAN」を構築するうえにおいても重要なことであり、これにより、地球のひとつの地域である和歌山が、世界とダイレクトに結びつき、和歌山の優れた文化が世界に紹介され地球の多様で豊かな文化環境の醸成に寄与できるのではないかと考え、我々は、WINコンコードを設立するものです。

WINコンコード事務局

〒640-0103 和歌山市加太2201-339

TEL073-459-3888 FAX073-459-3889

HP : www.infonet.co.jp/aso/win/indexj.htm

E-mail : win@infonet.co.jp